

生活指導より二中生・二高生の皆さんへ No.3

4月7日に緊急事態宣言が発表されてから、最初の週末を迎えます。報道番組を見ていると、「結局今までとあまり変わらない」という趣旨のコメントを耳にします。これはあくまで限られた一部の制度上のことです。私たちは緊急事態宣言の趣旨をくみ取り、一層高い意識をもって考えて行動しましょう。

医療に携わる方々に敬意を!

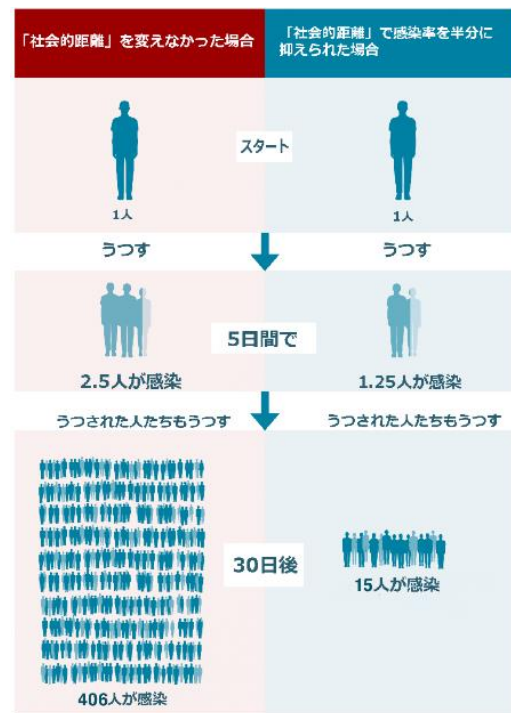
総理の会見冒頭で「医療従事者に心から敬意を表したい」と発言がありました。医療現場は常に感染のリスクにさらされています。感染すれば自分の家族を巻き込むかもしれないという不安や、自分の命に係わるかもしれないという恐怖や心労があると思います。それでも、多くの方が使命感で従事されています。私たちは医療に携わる方々に**最大限の敬意をもち、自分たちのできることをすべきです**。感染者を一人でも減らす努力、これもできることです。

二中生・二高生の皆さん、守っていただいていることに感謝しましょう。

具体的にできることは

「密閉・密集・密接」を避ける。三密を防ぐ行動は守れていますか。次は日常で接触する人を減らす努力です。東京都の感染者の増加ペースを専門家が試算したところ、現状のままなら**感染者数は2週間後に1万人、1か月後には8万人を越えるといわれています**(会見発言、右はモデル図)。

できるだけ電話やwebを利用し、人との接触機会を8割減らすことが努力目標の目安となりました。例えば1週間で10人と出会う生活をしてきた人は、どうしても会わなければいけない人との接触を2人に絞る努力をしましょう。また、社会的距離(理想は2m以上だが検証中)をできるだけ取るよう日々心がけてください。



改めて医療崩壊について考える

日本でも各都道府県で感染者数に差がありますが、国ごとにも顕著な差が見られます。正確なデータは、収束と検証を経て数年後に示されるものです。しかし、現状を理解することや、様々な予測を立てるためには、今あるデータから推測しなければなりません。

新型コロナウイルス感染者が多い国・地域
※日本時間3日午前現在。米ジョンズ・ホプキンス大の集計から

	感染者	死者
世界	101万4673人	5万2973人
米国	24万4678	5911
イタリア	11万5242	1万3915
スペイン	11万2065	1万 348
ドイツ	8万4794	1107
中国本土	8万2433	3322
フランス	5万9929	5398
イラン	5万 468	3160
英国	3万4173	2926
スイス	1万8827	536

左の表は、4月3日付けの毎日新聞公表データです。

アメリカを筆頭に感染者数の多い順番になっていますが、そもそも国の人口に差があります(※「無症状の感染者で検査を受けていない人」は感染者数に反映されません)。

注目すべきは、感染者に対する死者、つまり死亡率です。

死亡率について極端なケースを挙げると、イタリア(12%)とドイツ(1.3%)、両国には大きな差があります。それぞれ**1000人が感染した場合、死者数は片や120人、片や13人に分かります**。二つの国でウイルスの強弱が大きく変る要素は報告されていません。**大きな要因は医療体制です**。

イタリアは世界的な高齢化社会であることも理由のひとつですが、2000年以降に国が医療費を削減し、施設やスタッフが不十分な状況でした。そこに急激な感染拡大を迎え、医療崩壊が起きました。病院に収容できない多くの重症患者が屋外の仮設テントに寝かされていた現状もありました。

対してドイツは医療に対する認識が高いだけでなく、政府は中国で流行が騒がれた1月中旬から、対策と財政支援を進めていました。緊急性のない手術や患者を計画的に病院から減らし、受け入れるベッドを1床(台)空けるごとに560ユーロ(約66000円)、人工呼吸器付きの救急対応用のベッド1台につき50000ユーロ(約590万円)支援しました。現在も受け入れ態勢に余力があります。

日本の医療は

日本はまだまだベッド数が追い付いていません、人も足りません。この状態で**短期間に感染拡大を迎えれば、重症患者が十分な医療を受けられないことになります**。例えば2人の患者を目の前にして、どちらに呼吸器をつけるか命の選択を迫られるむごい状況が予想されます。施設の不十分な場所に患者を収容すれば、現場スタッフの感染リスクが高まります。医療従事者がウイルスによってなくなります。これが医療崩壊の現実です。

粛々とできることをしましょう。三密を避ける、人との接触機会を減らす、社会的距離を心掛ける、マスクの着用、何よりうがいと手洗いです。

政府の対応には時間がかかっており、批判を受けています。しかし私たち国民も勉強不足でした。1月の段階で「ドイツの対応は当然だ」と国も国民も考えたかどうか。今まで日本は年間医療費を40兆円かけてきたけれど、無駄な医療費の使い方が多々あったのではないかな。いつか収束した後、忘れてはいけないことです。引き続き、学びを続けましょう。